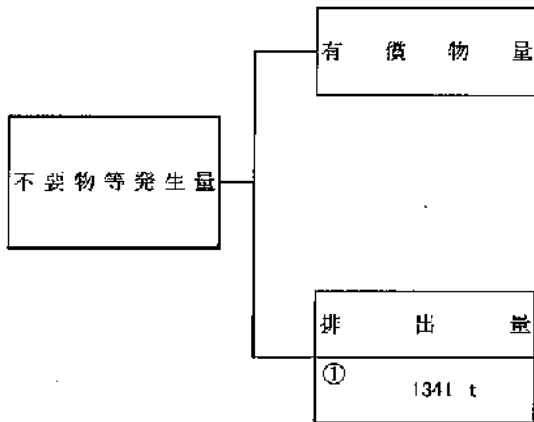


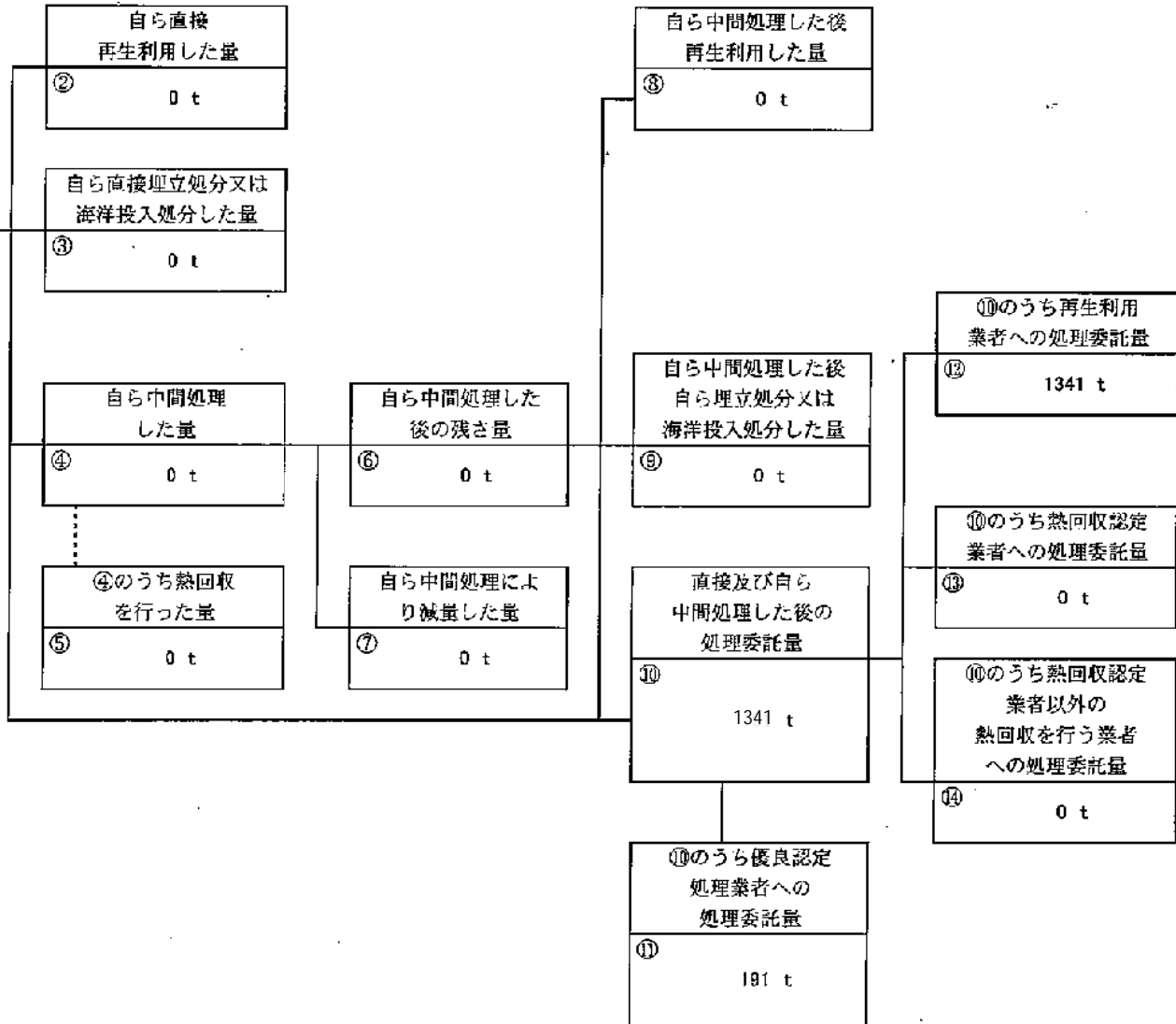
産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
北九州市長 殿		令和 5年 6 月 20 日	
提出者			
住所		福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号	
氏名		松鶴建設株式会社	
		代表取締役 川田 和人	
電話番号		092-411-1510	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。</p>			
事業場の名称	松鶴建設株式会社		
事業場の所在地	福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号		
事業の種類	土木工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1047 t	全処理委託量	1047 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	45 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1047 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：全体 (がれき類・建設汚泥・混合廃棄物))

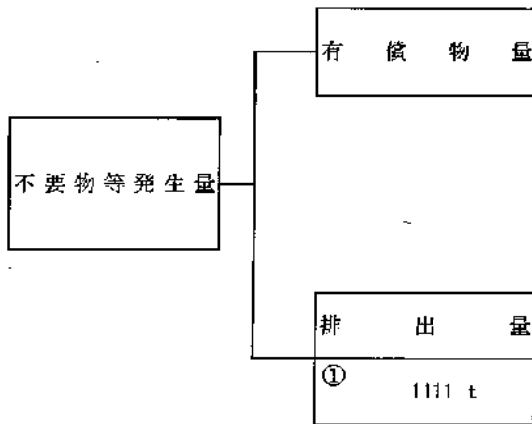


項目	実績値
①排出量	1341 t
②+③自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	1341 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	191 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1341 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

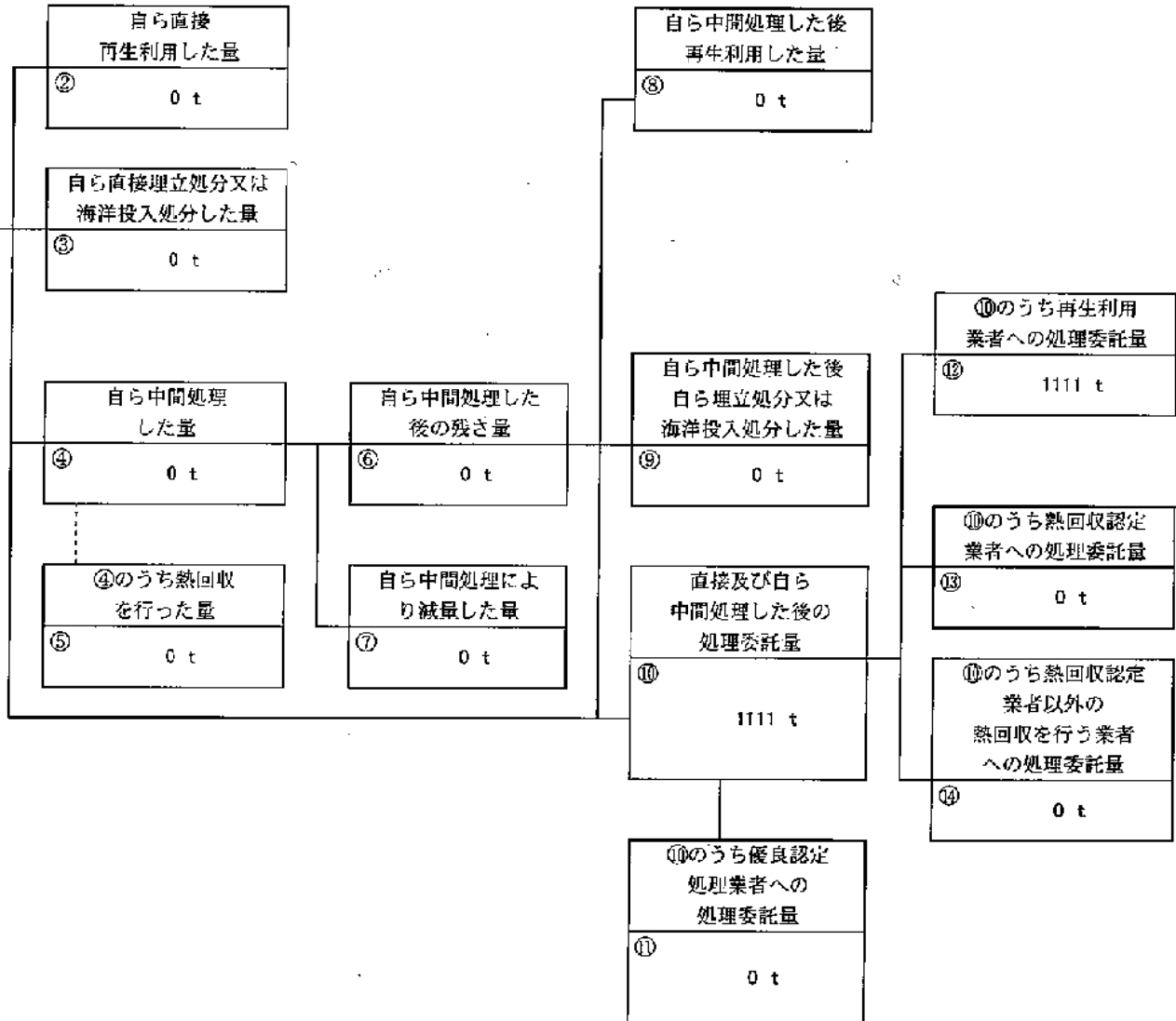


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類・コン殻・アス殻・その他のがれき類)

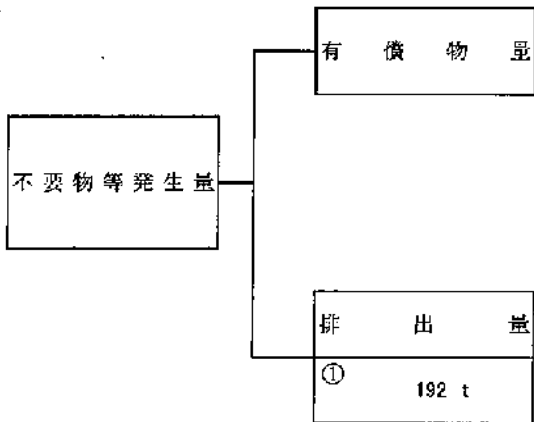


項目	実績値
①排出量	1111 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	1111 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1111 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

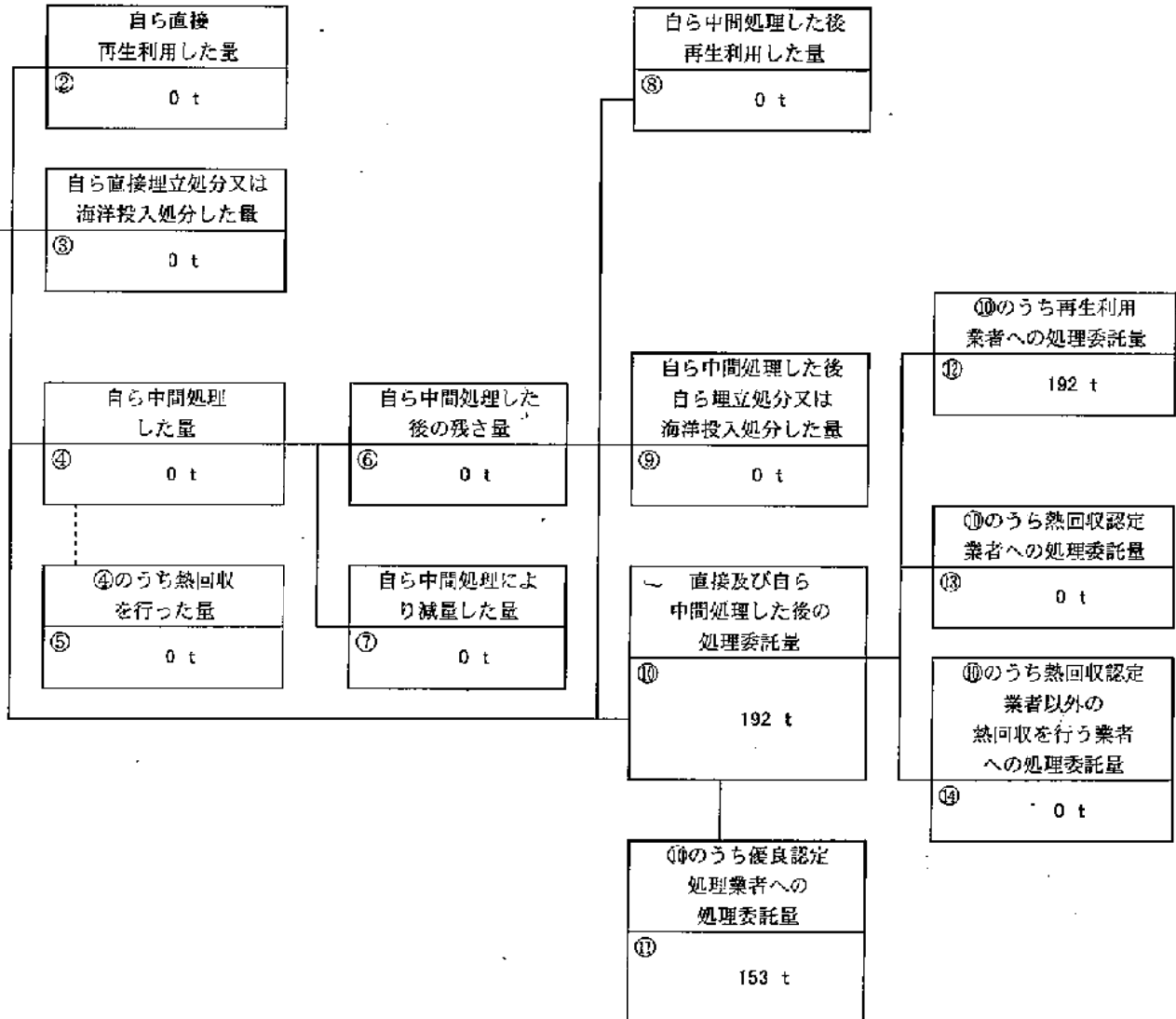


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設汚泥)

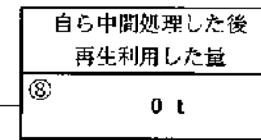
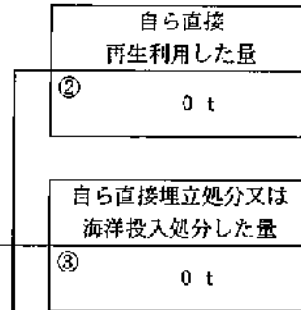
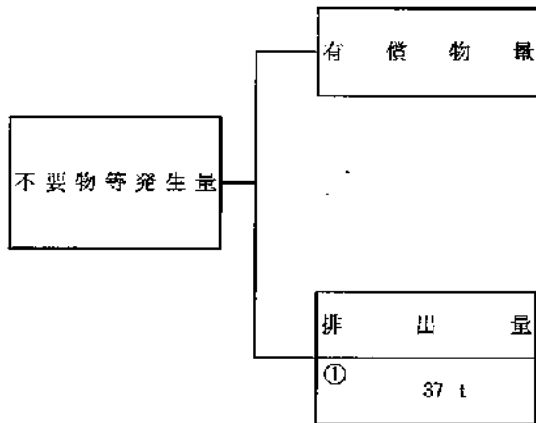


項目	実績値
①排出量	192 t
②+③自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	192 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	153 t
⑫再生利用業者への処理委託量	192 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

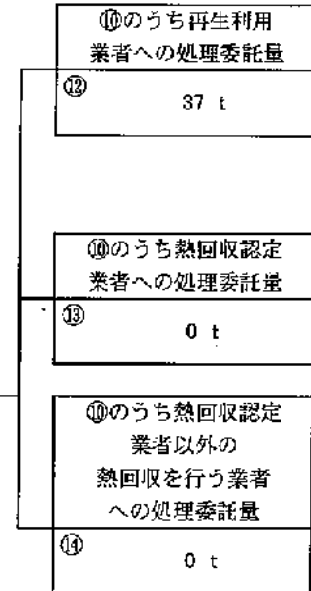
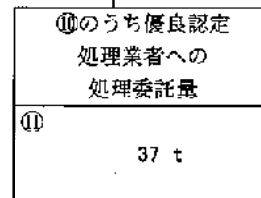
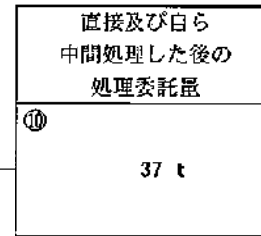
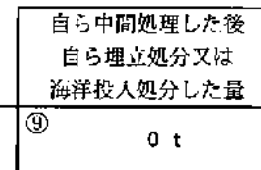
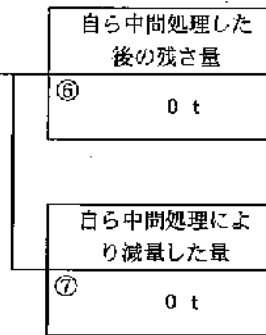
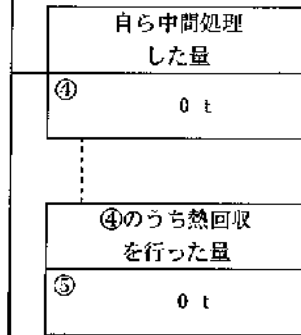


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：混合廃棄物)

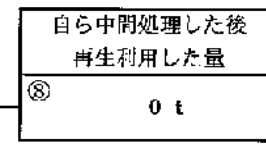
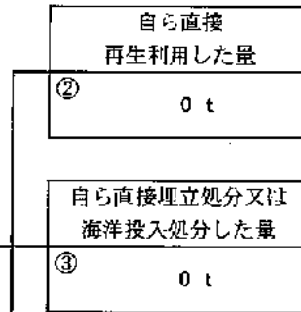
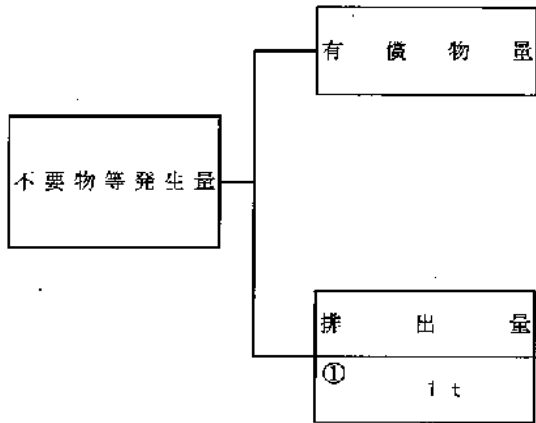


項目	実績値
①排出量	37 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	37 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	37 t
⑫再生利用業者への処理委託量	37 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

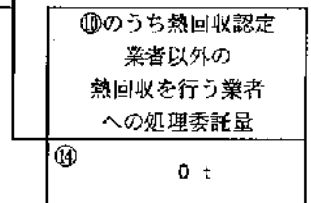
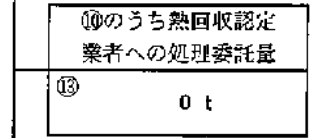
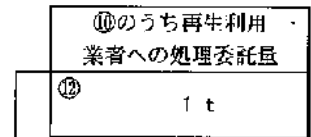
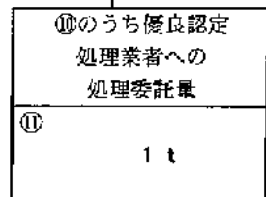
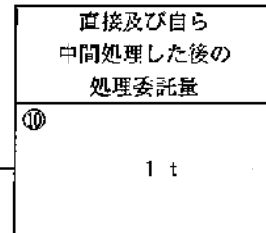
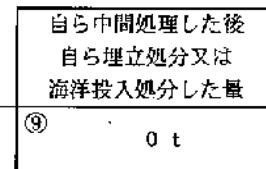
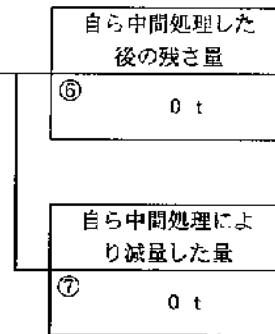
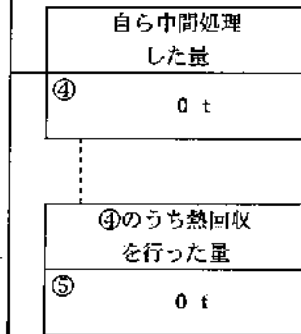


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：繊維くず)



項目	実績値
①排出量	1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 20日

北九州市長 武内 和久 殿

提出者

住所 福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号

氏名 松鶴建設株式会社

代表取締役 川田 和人

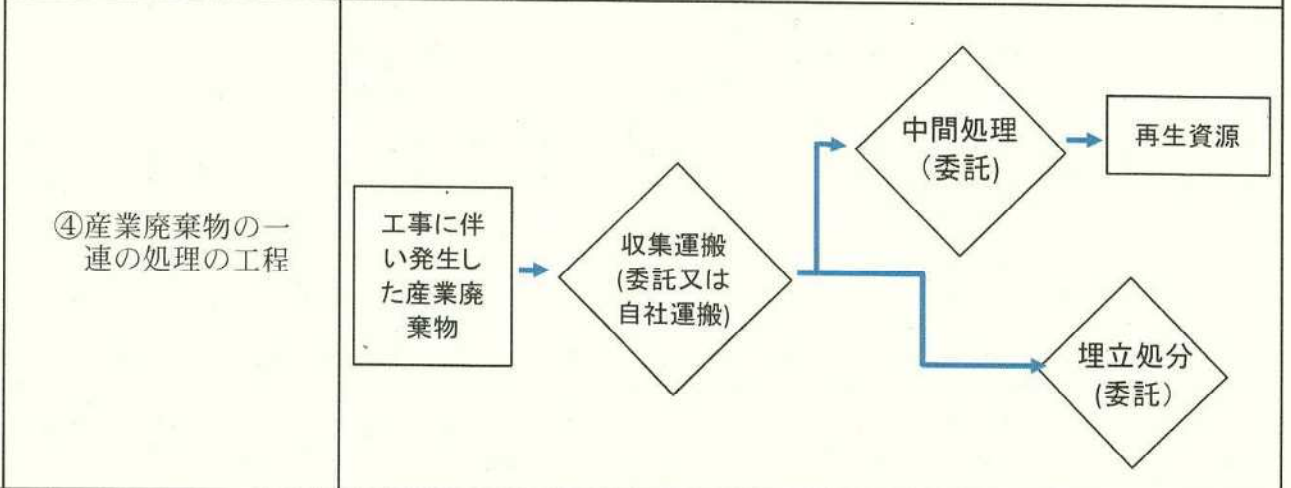
電話番号 092-411-1510

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	松鶴建設株式会社
事業場の所在地	福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

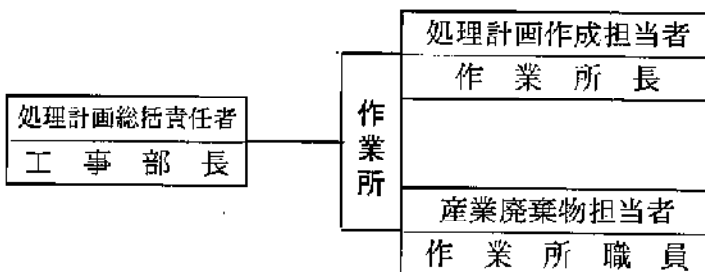
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	土木建築工事業
② 事業の規模	26億円
③ 従業員数	44名



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（R4年度）実績】	1,341t	(2現場：完了1現場・継続1現場)			
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物
	排出量	1,111 t	192 t	0 t	1 t	37 t
	(これまでに実施した取組)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・設計値に対して必要最小限の余掘り巾・厚さ確保による削減。 ・無理な工程、粗悪な管理による手戻り防止による発生量の抑制。 ・分別収集の徹底し再利用、再生利用の促進。 ・ISO14001の環境方針・令和4年度実施計画書により削減を目指した。 					
②計画	【目標】	1,009 t	(2現場：継続1現場・新規2現場)			
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物
	排出量	828 t	158t	t	0 t	23 t
	(今後実施する予定の取組)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・設計値に対して必要最小限の余掘り巾・厚さ確保による削減。(がれき類の搬出抑制) ・無理な工程、粗悪な管理による手戻り防止による発生量の抑制。(資源の無駄「ゼロ」) ・分別収集の徹底し再利用、再生利用の促進。(再生率の低い混合廃棄物の削減) ・材料搬入時の梱包材・梱包紙で再利用可能なものは、業者に引き取らせる。 ・ISO14001の環境方針・令和5年度実施計画書の取組みにより削減を目指す。 ・混合廃棄物の目標：2.80 t/億円 (5ヵ年計画値2%の削減) 					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み) がれき類(コンガラ・アスコンガラ・その他のがれき類)は分別収集 金属くず・廃プラスチック・紙くず・木くず・繊維くず等は、原則分別収集
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み) がれき類(コンガラ・アスコンガラ・その他のがれき類)は分別収集 金属くず・廃プラスチック・紙くず・木くず・繊維くず等は、原則分別収集

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度 (R3年度) 実績】 0t						
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物	
	自ら再生利用を行なった産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	
	(これまでに実施した取組) 特になし。						
②計画	【目標】 0t						
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	
	(今後実施する予定の取組) 特になし。						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度 (R3年度) 実績】 0t						
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物	
	自ら熱回収を行なった産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	
(これまでに実施した取組) 特になし。							
②計画	【目標】 0t						
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物	
	自ら熱回収を行なった産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	
(これまでに実施した取組) 特になし。							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（R3年度）実績】 0t					
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし。					
②計画	【日標】 0t					
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（R4年度）実績】 1,341t					
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物
	全処理委託料	1,111 t	192 t	0 t	1.0 t	37 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	153 t	0 t	1 t	37 t
	再生利用業者への処理委託量	1,111 t	39 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託料	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り分別を行い、他の廃棄物と混合しないよう管理した。 ・ISO14001の環境方針・令和4年度実施計画書により削減を目指した。					

【目標】							1,009 t
産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物		
全処理委託料	828 t	158t	0 t	0 t	23 t		
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	23 t		
再生利用業者への処理委託量	828t	158t	0 t	0 t	0 t		
認定熱回収業者への処理委託料	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り分別を行い、他の廃棄物と混合しないよう管理する。 ・ISO14001の環境方針・令和5年度実施計画書の取組みにより削減を目指す。 ・優良認定を受けた処理業者に可能な限り委託する。 ・材料搬入時の梱包材・梱包紙で再利用可能なものは、業者に引き取らせる。 							

②目標